

名家連ニュース

令和3年9月1日(水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.825号

第16回家族相談員スキルアップ研修会

＊親亡き後の不安～障害福祉サービスの活用法について＊

8月26日(木)午後1時30分～4時まで、名古屋市精神保健センター(こころぼ)において、三尾由紀氏(緑区障害者基幹相談支援センター 副センター長)を講師にお招きしてスキルアップ研修会を開催いたしました。

収容定員の1/2を厳守し、コロナ感染症予防対策を行い、参加者は30名でした。

三尾さんには、私たち家族が今一番気に掛けている「親亡き後の



不安」の中から、障害福祉サービスの活用法に関する事柄を配布資料とパワーポイントを活用して講演していただきました。特に親亡き後に必要と思われる社会的支援について、障害福祉サービスの利用相談は「親亡き後ではなく『今』から始めてもいいですよ」「Let's do it!!」と言葉をかけていただいたことが強く、ここに感じました。次に障害福祉サービスの全体像について説明があり、障害者総合支援法の給付事業の中から精神障害者が利用できる給付の種類と障害福祉サービスの利用や手続きの流れ、その内容に加えて、障害年金や生活保護、成年後見制度、権利擁護事業(日常生活自立支援事業)に至るまで家族にも理解しやすい語り口でお話していただきました。

講演後の質疑応答では、日々の生活の中での悩み事や成年後見制度の利用などの質問に対して、三尾さんは現場で関わってきた相談事例を紹介し、ご自身の感想も含めて応答されました。

今回の講演で一番ところに響いた言葉・ポイントは、『換気』のしくみ(空気の入れ替え)が重要であること「長期にわたり、隣を歩いてくれる支援者を見つけることが大事」という点でした。各区の基幹相談支援センターの存在や役割を身近に理解し合い、親以外の第三者支援に繋げていくことが肝要であることが「親亡き後の不安」を和らげていく「はじめの一歩」になることを改めて認識させていただきました。参加者の皆さんも講師の言葉に頷きながら耳を傾けている姿がとても印象的でした。

(スキルアップ研修会 担当理事:大橋幸子、池山豊子)

< 家族会の皆様へ >

家族による家族相談活動も11年目となりました。一年半に及ぶコロナ禍の中においても様々な交通機関を乗り継ぎながら電話相談活動にご協力いただきありがとうございます。この機会をお借りして厚く御礼申し上げます。今後共宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人 名古屋市精神障害者家族会連合会会長 堀田 明